

令和6年度 自己評価表(当初)

江田島市立鹿川小学校

中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策	評価指標	実績値				評価 (自己評価の結果)	改善策
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
児童の学力の向上を図る。	①基礎基本の定着の徹底	①「本時で身に付けるべき知識・技能」を児童と確実に共有することで、単元や学習のゴールへ向けて主体的に学習できるよう授業改善を行う。 ①MIM(多層指導モデル)やドリルタイムの取組を通して、「聞く・話す・読む・書く・計算する・推論する」等の力を高めるための個別指導の充実を図る。	・単元テスト(国語・算数)【知識・技能】の平均到達度  ・標準学力調査における基礎問題の正答率	国語 81.4% 算数 81.5%	国語 81%以上 算数 81%以上	国語 81%以上 算数 81%以上	国語 81%以上 算数 81%以上		
	②思考、判断、表現力の向上	②長文読解や文章問題を正しく読み取るための方法(注目すべき文言に印を付ける等)を児童に紹介しながら継続的に指導する。 ②教科横断的なカリキュラム設計を行い、身に付けた知識・技能を活用できる場を設定する。	・単元テスト(国語・算数)【思考・判断・表現力】の平均到達度  ・標準学力調査における活用問題の正答率	国語 81.4% 算数 76.7%	国語 81%以上 算数 76%以上	国語 81%以上 算数 76%以上	国語 81%以上 算数 76%以上		
	③学びに向かう力の育成	③学び方や考え方の選択肢を提示し、児童が問題を解く際に「自己決定」しながら主体的に学ぶことができるようにする。 ③1単位時間または単元の学習の中で、自らの学びを自覚したり見通しをもったりすることができるよう、「振り返り」の内容を充実させる。	・児童アンケートでの肯定的評価の割合 ・教師アンケートの記述分析	児童 80%	児童 80%以上	児童 80%以上	児童 80%以上		
児童の豊かな心を育成する。	・規範意識を向上させ、毎日を気持ちよく過ごす児童を育成する。	・自分は「時間を守る」「大きな声で返事・挨拶ができる」という自信をつけるために、日常的に肯定的評価をしていく。  ・委員会活動を児童主体の取組にする。 ・学校・地域貢献活動を行う場を設定する。	学校アンケート ・児童アンケートでの肯定的評価の割合	時間を守る 93% 挨拶 94% 掃除 93%	時間を守る 90%以上 挨拶 90%以上 掃除 90%以上	時間を守る 90%以上 挨拶 90%以上 掃除 90%以上	時間を守る 90%以上 挨拶 90%以上 掃除 90%以上		
児童の体力向上を図る。	①上体起こし及び50m走の種目を通して、体力向上を図る。	①サーキット運動や体支持運動を積極的に取り入れ、体幹を鍛える。 ①児童が主体的に外遊びを楽しむことができ、「走る」機会を増やすことができるよう委員会活動を充実させる。	・新体力テスト・各学期の再計測の県平均を上回る割合	上体起こし 25% 50m走 75% 運動好き 91%	上体起こし 50% 50m走 65% 運動好き 90%以上	上体起こし 70% 50m走 70% 運動好き 90%以上	上体起こし % 50m走 % 運動好き %以上		
	②健康体力を高めるための生活習慣の定着を図る。	②生活時間を意識させ、健康の保持増進のために生活調べを行う。(早寝、早起き、朝ごはん)	・生活カード	早寝 73% 早起き 69% 朝食 88%	早寝 75% 早起き 70% 朝食 86%	早寝 75% 早起き 70% 朝食 87%	早寝 75% 早起き 70% 朝食 87%		
信頼される「わくわくする」学校となる。	①教職員による不祥事を0(ゼロ)にする。 ②業務改善を進める。 ③保護者が相談しやすい環境をつくり、学校満足度を向上させる。 ④地域や学校外の人材を活用した授業を設定する。	①月1回の服務研修の確実な実施と過去の事例と防止策を研修内容として取り入れる。 ②会議は内容を確認し、必ず始まりの時刻と終了の時刻を設定して行う。 ③定期的な「便り」の発行やHPの更新を行い、取組状況や児童の状況を発信する。 ④各学年で、地域・保護者連携を行い、地域や学校外の人材を活用した授業を行う。	・不適切事案の発生数  ・時間外での会議の回数  ・学校満足度 〔情報提供 教育活動〕  ・活用回数	0件  0回  95%	0件  0回  90%以上	0件  0回  90%以上	0件  0回  90%以上		